

「障がい者家族会 秋桜」にて家族同士での交流や学習する機会を

家族の方から障がい福祉サービス制度の事や年金の申請の事を聞けてよかった、他の家族と悩みを共有できて気持ちが軽くなったとよろこびの声を頂いております。家族ならではの悩みを話す機会や、障がいのことやその他、幅広い内容について勉強する機会も設けています。ぜひご興味のある方は下記連絡窓口までお問い合わせください。

○対象者：障がい種別に関わらず、障がいある方のご家族

○日時・場所：毎月第3木曜日13:30～のどか会議室にて（変更の場合がありますのでお問い合わせください）

☆新会員募集しています。お気軽にお問い合わせください。

○連絡窓口：家族会秋桜事務局（地域活動支援センターのどか 担当：辻本）

TEL・FAX：0747-53-2215

吉野コスモス会で一緒に働きませんか？

現在、吉野コスモス会では、パート職員（世話人）の求人募集をおこなっています。

☆職種／仕事内容

○世話人(パート)：共同生活を営む住居（定員6名）での夜勤業務（朝・夕食の提供や生活に関する相談や助言、日々の記録等）

☆給与 [1～2] 時給 986円～1,050円 ※経歴資格等により異なる

☆勤務時間・曜日

○16:00～翌 9:30 ※基本週 1 回

地域で生活する障がいある方々に真正面から向き合える人材を求めています。詳細等につきましては、法人本部（担当：小南、竹林）までご連絡ください。（0747-64-8870）

後援会からのお知らせ

吉野コスモス会 後援会は、会員を募集しています。コスモス会の活動に共感し、活動を盛り上げて頂ける方など大募集しております。

詳しくは法人本部(担当：小南、竹林)までご連絡ください。

☆特典☆

○機関誌「コスモス便」(年4回)と当事者中心でつくる「巷陽来復通信」をお届けします。

○吉野コスモス会イベント情報をお届けします。

会費：1口1,000円 ※何口でもご入会いただけます。当会事務局でも入会可能です。

郵便振替口座：特定非営利活動法人 吉野コスモス会後援会 00910-3-225609

コスモス便

<NO.42> 2025.4.23

特定非営利活動法人 吉野コスモス会

〒638-0821 奈良県吉野郡大淀町下淵854-1

TEL/FAX 0747-64-8870

E-mail kosumosukai07@royal.ocn.ne.jp

ホームページ http://yoshino-cosmos.ivory.ne.jp

法人本部より

穏やかな春の季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

世間では物価高騰や、最低賃金の引上げなどにより、生活のスタイルを変えていく事を余儀なくされると日々感じる今日この頃です。

障がい福祉業界でも、その影響は大きく、令和6年度に報酬改定となりましたが、実際のところ、物価高騰や最低賃金の引き上げなどあまり考慮されておらず、国の施策がリンクしていないとされます。

障がいサービスを取り巻く環境にも変化があります。企業の障がい福祉サービスへの参入が加速した結果、正しく理念をもって障がい福祉に関わる事業所が阻害されてしまうような事態も増えています。

例えば、福祉サービス事業所の総量規制、企業が福祉サービスに参入したことで爆発的に事業所が増えています。本当にこの地域で必要なサービスを開始したいと考えていても、総量規制があり事業を新設できず、困っている方へサービスを届けることができない事態も一部の地域では起きています。

通所型のサービスについても同様で、サービス提供時間別の報酬改定となったことで、本人やご家族のニーズにそぐわないサービス提供となってしまっていたり、事業所としても運営が成り立たず、事業を閉めてしまう事態も起きているのです。

障がい福祉サービスは、地域で生活する障がいある方やそのご家族にとってインフラだと考えます。報酬改定は3年おきなので、残りの2年間で福祉サービスを通じて感じたこと、問題点など、福祉に関わる私たちは良く考え、声を上げていくことが必要であると、強く感じている日々この頃です。

P.S

寄る年波には勝てず、老眼が進んでいますが、各サービスの説明や制度の読み込みなど細かな文字で書かれた文章を読み解き、地域にとって必要な正しい形に反映できるよう努力をしていきたいと思ひます。

理事長 竹林 祐

かくぶもん ほうこく 各部門からご報告



ちいきかつどうしえん 地域活動支援センターのどか（地域活動支援センター）



ながねん そうげいなど しょう にっさん
長年、送迎等で使用してきた「日産キャラバン」の
ろうきゅうか こしょう にほん
老朽化が進み、故障も増えてきたため、この度、日本
さいだん じよせい にっさん どうにゅう
財団さんから助成をいただき「日産セレナ」を導入し
ました。キャラバンに比べて床から高さも低いため、
だれ うんてん らく の お
誰でも運転しやすく、楽に乗り降りができるようにな
りました。今後は地域活動支援センターのどかの送迎
じっしかいすう ふ きかく がいしゅつ
や、実施回数を増やしていこうと企画している外出
レクリエーション等を使用し、メンバーの皆さんに
かいてき で か かんが
快適に出掛けていただけるようになると考えていま
す。ぜひ、ちいきかつどうしえん かつどう
地域活動支援センターのどかの活動にご
さんか
参加ください。

こうぼう しゅうろうけいぞくしえん がた ういる工房（就労継続支援B型）



3月17日(月)に吉野町老人福祉センター中 荘 温泉で
かいさい さんか ものめすら
開催されたマルシェに参加しました。物 珍しさもあった
のか、かいじかんまえ かいし どうじ
開始時間前からお客さんがチラホラ。開始と同時に
お客さんが殺到し、ありがたいことに開始20分程でう
こうぼうとくせいべんどう す し かんぱい
る工房特製弁当とお寿司セットが完売となりました。

2025年は他の市町村の販売会にも参加予定となっております。
はんぱいかい うりあげじたい ふだん うりあげ くら おお
販売会の売上自体は普段の売上に比べると大き
くはありませんが、他事業所や行政等との横のつながり
たいせつ こんご こうぼう はってん
を大切に、今後のういる工房の発展につなげていき
たいと思います。



編集後記

しんりよく こう こち きせつ まい
新緑の候、心地よい季節となりました。

ほうじんないけんしゅう じっし ふだん ちが ばしょ す
2月に法人内研修を実施し。普段と違う場所で過ごすことで、同じメンバーでもいつもと違う新
いちめん はっけん きかい あたら ばしょ あたら ひと で あ ふあん きんちょう
な一面を発見できる機会となりました。「新しい場所」「新しい人」に出会うことは不安で緊張し
ますが、あたた きせつ みなさま あら はっけん
ますが、暖かい季節、皆様も「新たな発見」を見つけてワクワクする毎日にしていきましょう。



よしの かい きょうどうせいかつえんじょじぎょう 吉野コスモス会ハウス（共同生活援助事業）



3月に恒例の避難訓練を行いました。今回はい
つものくねん くら ひなん ひなん なかみ
つもの訓練に加えて、避難リュックの中身も
かくじん いんしょく けい ぎん かいちゅうでんとう
確認しました。飲食物の期限や懐中電灯の
でんち ほか ひつよう
電池が切れていないか、他に必要なものがない
か…？などなど。普段使うことがない分、
ていきてき かくじん
定期的に確認しなければいけませんね。
ひなんくねん
避難訓練の後は、久しぶりにグループホームで
お好み焼き&焼きそばをしました★ デザ
ートのアイスは事前に1人ずつ希望を聞き、都合
がつく入居者さんと買い出しへ。「何年ぶり
か分からんわ〜」と言いつつも、みなさんしょうず
お好み焼きをひっくり返せていました。バタバ
タしつつもほのぼのとした時間を過ごせまし
た。



せいかつどうだん しょう しゃぞうだんしえんじぎょう 生活相談センターのどか（障がい者相談支援事業）



シリーズ「意思決定支援とは」パート4 はちょっとブレイクタイム



皆さま。「意思決定支援とは」パート3の内容を覚えていらっしゃいますか。難
い話題が続くので今回はブレイクタイムにして、のどかで関わっている自治体の
じりつしえんきょうぎかい とりくみ しょうかい おも ふくしかんけいきかん
自立支援協議会の取組を紹介したいと思います。これまでは福祉関係機関が集ま
て、ちいきかだい はな あ
地域課題について話し合うというスタイルでしたが、「もっとわくわくしよう」
「次に繋がるものにしよう」とスタイルをガラッと変えてスタートしたのが「吉野町
じりつしえんきょうぎかい しょう
自立支援協議会」です。障がいがあってもなくてもみんなわくわくをテーマに「マ
ルシェ」を開催しました。福祉事業所がお弁当や焼き菓子を販売し、なんと3時間で
かんぱい ちいきじゅうみん こ せいぎょう
全て完売。地域住民の方もたくさん来られて盛況でした。これからは分野を超え
て、ちいき いっしょ まち ひつよう
地域と一緒に「住みやすい町」を作っていく必要があります。吉野町の新しい自立
しえんきょうぎかい かたち こんご
支援協議会の形は今後のモデルになっていくといいなと感じました。